

親子聖書日課

NO.1900 2025.2/23-3/1

名前

[日]民は偶像礼拝により、主の怒りに触れますが、「背き続け、心のまま歩み」ます。主に捨てられて当然でしたが、主は「彼らをいやし、慰めをもって回復」させます。この愛が私達にも向けられていますから、「へりくだる霊の人」になりましょう。

[月]信仰生活を送りながら、争いといさかいを起こす人はいませんか。その人は、自分の義を立てることに熱心な人です。「主が選ぶ断食」とは、自分の食を断って飢えている人、傷ついている人に施していく、神と人への愛に生きることです。

[火]戸を閉めていると、太陽の光が注ぐ日中も部屋の中は真っ暗です。心の中も、罪の雨戸によって、主の光を遮るのです。救いを妨げる原因は、主にあるのではなく、自分にあります。罪を告白して、主の十字架の救いを心に受け入れましょう。

[水]私達は、自分の努力ではなく、「主の栄光」に満たされてこそ輝くのです。私達は光の子ですから、周りを照らすことができます。誰に対しても、「起きよ(主を信じて)、光を放て」と勧めましょう。一緒に輝いて生きる信仰の友が与えられます。

[木]主イエスが会堂でご自分に成就したと言われた聖句が、この1-2節です。心の貧しい私達が、主の救いを受け入れることによって、自由と慰めと喜びと賛美が与えられました。主の輝きを表す「正義の樅の木」として、今、立たされています。

[金]主は人々の救いのために、黙っておられませんが、信仰がなくならないように祈られ、十字架の道を歩まれました。私達も「救いが松明のように上がるまで」「昼も夜も決して黙してはならない」昼は伝道し、夜は執り成しの祈りをしましょう。

[土]エドムの裁きの日が、イスラエルの救いの日であったように、罪の裁きの日、主を信じる者にとっては、贖いの日です。主は「彼らの苦難を常にご自分の苦難」とされました。世の終りの日は、恐怖ではなく、救いの完成の日として待ち望もう！



	聖書	問題	答え
日	イザヤ 57:1-21	主はどんな霊の人に命を得させて下さいますか	
月	58:1-14	主の選ぶ断食とは、飢えた人に何を裂き与えることですか。	
火	59:1-21	お前たちの何が、神の御顔を隠させましたか。	
水	60:1-22	主はあなたの何となりあなたの神があなたの輝きとられますか。	
木	61:1-11	主は私を遣わして、貧しい人に何を伝えさせようとしたか。	
金	62:1-12	エルサレムのために、私は決してどうしませんか	
土	63:1-19	主が心に定めた報復の日は、主の何の年でしたか。	
	感想と祈りの課題		